

総研大ニューズレター

第 10 号 2009. 3 発行

● 目次

- 【今月のトピック】 「小林誠特別名誉教授ノーベル物理学賞受賞記念講演を開催
高エネルギー加速器研究機構」
「平成 20 年度総合研究大学院大学アジア冬の学校(AWS2008)
核融合科学専攻」
「月全球の正確な地形と重力場が世界で初めて明らかに
国立天文台」
「国際会議「TIPP09」にて講師陣による若手研究者のためのレ
クチャーコースを開催 総務課広報係」

【各種募集】

【イベント情報】

【編集後記】

【今月のトピック】

「小林誠特別名誉教授ノーベル物理学賞受賞記念講演会を開催」

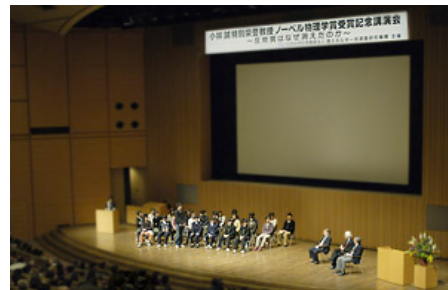
2月1日(日)、つくば国際会議場において、小林誠 KEK 特別名誉教授ノーベル物理学賞受賞記念講演会「反物質はなぜ消えたのか」を開催しました。

小林特別名誉教授は、「六元模型ができるまで」と題して、ノーベル賞の受賞理由となった6種類のクォークの存在を予言した理論について、その背景となった素粒子模型や物質と反物質の対称性の破れの発見などの説明を交えて講演しました。

また、KEK つくばキャンパスにあるBファクトリー加速器を使った素粒子実験：Belle 実験共同代表の山内正則 KEK 素粒子原子核研究所教授が、小林・益川理論の正しさを実証した Belle 実験の業績と、Bファクトリーを含めた素粒子実験が目指す素粒子物理学の将来展望について紹介しました。



講演する小林特別名誉教授彰式の様子



地元つくばの高校生、大学生、大学院生からの質問に答える小林特別名誉教授

講演会の後半では、小林特別名誉教授が、高崎史彦 KEK 理事 (KEK 素粒子原子核研究所長)、山内教授とともに、つくば市内の高校生や筑波大学などの大学生・大学院生からの質問に答え、研究への取り組みや学生時代の様子などを時折ユーモアを交えながら話しました。

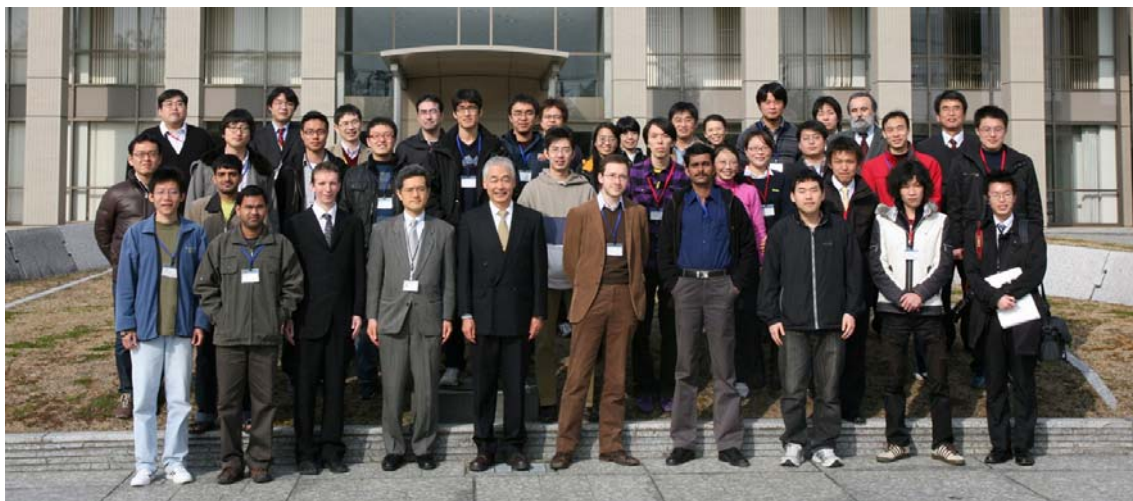
12月10日のノーベル賞授賞式後、初めての一般向け講演会となった今回は、1000人を超える聴衆が来場し、熱心に耳を傾けていました。

また、講演会後に関係研究者などにより行われた祝賀会では、特別荣誉教授記が鈴木厚人 KEK 機構長より手渡されました。

※小林誠先生は、本学では名誉教授です。

【文責：高エネルギー加速器研究機構 HP トピックスより転載】

「平成 20 年度総合研究大学院大学アジア冬の学校 (AWS2008)」



平成 21 年 2 月 3 日 (火) から 6 日 (金) まで総合研究大学院大学アジア冬の学校が核融合科学研究所 (NIFS) で開催されました。

この総研大アジア冬の学校は総研大物理科学研究科の 5 専攻の教育・研究活動を国内外の学生や若手研究者に広く供するために、平成 16 年度より開催されています。本年度は、「ゆらぎと構造形成の科学—生命・物質・宇宙—」を 5 専攻共通テーマ、「プラズマ中の自発的構造形成」を核融合科学専攻のサブテーマとし、例年と同様にシミュレーション科学教育講座との共催として行われました。

国外は中国、韓国、インド、台湾、ドイツの 5 カ国から 14 名、国内からは 15 名の総計 29 名の参加がありました。プラズマ・核融合および関連分野に関するシミュレーションおよび実験の基礎と応用、プラズマ乱流や輸送、プラズマ閉じこめ、自発的構造形成に関する最新の研究に関する講義が行われました。それに加えて、大型ヘリカル装置 LHD の見学、バーチャルリアリティ装置 CompleXcope での大規模 3 次元シミュレーションデータの可視化体験、参加者と NIFS の研究者、学生の交流の場としてポスター発表が行われました。

参加学生の中からは総研大への進学を考える人も出ており、総研大および NIFS の活動を内外に認識してもらうための企画として重要な役割を果たしています。

URL : <http://www.dss.nifs.ac.jp/aws2008/index-j.shtml>

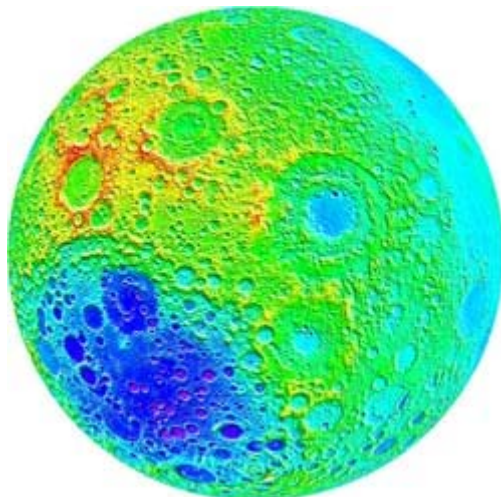
【文責：核融合科学専攻 石黒静児教授】

「月全球の正確な地形と重力場が世界で初めて明らかに」

国立天文台、JAXA、九州大学、東京大学、国土地理院などの研究者チームは、月全球の正確な

地形と重力場を世界で初めて明らかにしました。JAXA の月周回衛星「かぐや」のレーザ高度計による観測から、月全球の 0.5 度を切る分解能の地形図を作製しました。極域を含む正確な月地形図は世界で初めてです。また、「かぐや」とリレー衛星「おきな」の連携プレーにより、世界で初めて裏側を含む月全球の正確な重力地図を作ることに成功しました。解析の結果、月の表側には見られる天体衝突地形に伴う強く広がった内部密度異常は、裏側にはみられませんでした。これは、表側と比べ裏側では、衝突地形ができたときに地殻が冷えて固くなっていたためと考えられます。

本研究の成果は、2009 年 2 月 13 日発行の米科学誌「サイエンス」に掲載されました。



【文責：国立天文台 HP 最新の話より転載】

「国際会議「TIPP09」にて講師陣による若手研究者のためのレクチャーコースを開催」

3 月 14 日（土）につくばエポカルで開催される測定器に関する国際会議「TIPP09」（<http://tipp09.kek.jp>）では、会議に参加中の著名な講師陣による若手研究者のためのレクチャーコースを開催いたします。

つきましては学生、若手研究者にご周知いただき、参加を促していただきますようお願いいたします。聴講は無料です。講義は英語で行います。

日 時 2009 年 3 月 14 日

講義会場 つくば国際会議場 <http://www.epochal.or.jp/index.html>

講義内容 1 限目 11:00-12:00

Gaseous Detectors

講師 Prof. F. Sauli (CERN)

2 限目 14:00-15:30

Particle identification

講師 飯嶋 徹 准教授 (名古屋大)

3 限目 16:10-17:40

Calorimeters

講師 Prof. D. Fournier (Orsay)

問い合わせ先 tipp09lc@kek.jp

主 催 TIPP09 Local Organizing Committee

後 援 総合研究大学院大学

【文責：総務課広報係】

【各種募集】・・・現在公募中の情報を掲載しています。

事 項	応募期間	提 出 先
総研大学術交流会・学位記授与式開催 http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000163.html	3月12日	葉山キャンパス
第3回日文研出版翻訳プロジェクト http://www.nichibun.ac.jp/number/index.html	3月末	国際日本文化研究センター

【イベント情報】・・・オープンキャンパス，入試説明会，入試など大学行事に関わるもの。

3月

日程	時間	行事名	場所
19日(木)	12:15～14:00	統計科学専攻:学生研究発表会 (平成20年第2回)	統計数理研究所
23日(月)		学術交流会 http://www.soken.ac.jp/news_all/0679.html	会場:湘南国際村センター (葉山キャンパス)
24日(火)		3月学位記授与式 http://www.soken.ac.jp/news_all/0679.html	葉山キャンパス

4月

日程	時間	行事名	場所
3日(金)	10:00-	基生研オープンキャンパス2009 http://www.nibb.ac.jp/opencampus/	基礎生物学研究所
9日(木)		4月入学式	葉山キャンパス

5月

日程	時間	行事名	場所
3日(日・祝) -4日(月・祝)		湘南国際村フェスティバル ・講演会 ・サイエンスカフェ ・観望会	3日 湘南国際村センター 4日 葉山キャンパス 協賛:総合研究大学院大学
16日(土)		遺伝学専攻 大学院説明会	国立遺伝学研究所
16日(土)	12:00-16:00	基生研大学院説明会 http://www.nibb.ac.jp/graduate/	東京ガーデンパレスホテル

<基盤機関の行事>

3月

日程	時間	行事名	場所
8日(日)まで		第3展示室(近世)ミニ企画展示「もの」からみる近世『和宮ゆかりの雛かざり』	国立歴史民俗博物館
		http://www.rekihaku.ac.jp/events/p090210.html	
29日(日)まで		くらしの植物苑特別企画 木の文化～ブナのと木地屋の世界	国立歴史民俗博物館
		http://www.rekihaku.ac.jp/events/o090210.html	
31日(火)まで		企画展;インド刺繍布のきらめきーバシン・コレクションに見る手仕事の世界	国立民族学博物館
		http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/indo/	
5月6日(水)まで		企画展示;錦絵はいかにつくられたか	国立歴史民俗博物館
		http://www.rekihaku.ac.jp/events/now.html	
4日(水)	13:30-14:30	統計数理セミナー;がんの分子診断研究の計画と解析	統計数理研究所
		http://www.ism.ac.jp/meetings/ism-seminar-2008.html	
4日(水) -4月5日(日)		パネル巡回展「太陽のふしぎ」	アクアトム 協力:宇宙航空研究開発機構
		http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml	
5日(木)、6日(金)	9:30-17:00	文法構造の歴史言語学的比較と再建に関する国際シンポジウム	国立民族学博物館
		http://www.r.minpaku.ac.jp/ritsuko/sympo/ (お申し込みのページ)	
5日(木)13:00- 6日(金)18:00		【分子研研究会】「ビラジカル化学とその展望」	分子科学研究所
		http://www.ims.ac.jp/events/2008/090305.html	
5日(木) -6日(金)		2008年度スペースプラズマ研究会	宇宙科学研究本部
		http://www.isas.jaxa.jp/j/researchers/symp/2009/0305_plasma.shtml	
6日(金)	16:00より	基生研セミナー;記憶の分子動態機構	明大寺地区1階会議室(111)
		http://www.nibb.ac.jp/event/seminar_detail.php?no=657	
7日(土)		アンデス文明の遺跡が語る人びとの暮らしー高地から海岸砂漠まで	国立民族学博物館
		http://www.senri-f.or.jp/tomonokai_kouen/index.html	
7日(土) -22日(日)		パネル巡回展 「日本の宇宙科学の歴史」	宮崎科学技術館 協力:宇宙航空研究開発機構
		http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml	
7日(土) -26日(木)		パネル巡回展「月のふしぎ」	綾部市天文館パオ 協力:宇宙航空研究開発機構
		http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml	
8日(日)	13:00-17:00	人類学の挑戦ーこれまでとこれから	国立民族学博物館
9日(月)	14:00-16:00	第222回 日文研フォーラム 江戸時代における無名の人々の伝記	ハートピア京都 3階 大会議室
		http://www.nichibun.ac.jp/event/forum.html	

9日(月)	13:00-18:30	ISM シンポジウム「生態系のリスク管理 と適応にむけた統計分析とその現状」	統計数理研究所
	http://www.ism.ac.jp/risk/contents/ISMsympo2008.html		
9日(月)		第27回宇宙エネルギーシンポジウム	宇宙科学研究本部
	http://www.isas.jaxa.jp/j/researchers/symp/2009/0309_energy.shtml		
9日(月)	16:00-17:00	The evolution of dorsoventral axis formation in insects	国立遺伝学研究所
	http://www.nig.ac.jp/seminar/index-j.html		
11日(水)	14:00-16:30	学術講演会; 一井波律子教授・合庭 惇教授退任記念講演会-「ハイデガ ーとマクルーハン: 技術とメディアへの 問い」「中国の五大小説」	国際日本文化研究センター
	http://www.nichibun.ac.jp/event/gaku.html		
11日(水)	17:00-18:00 過ぎまで	【市民公開講座】 「星はすばる、銀河も続(すば)る」	分子科学研究所
	http://www.ims.ac.jp/events/2008/090311.html		
12日(木)	15:00-16:00	部門公開セミナー; Stem Cells: Niche, Competition, Aging and applications	山手地区3号館2階共通セミナー室 主催: 基礎生物学研究所
	http://www.nibb.ac.jp/event/seminar_detail.php?no=668		
12日(木)- 6月2日(火)		特別展; 千家十職×みんなく: 茶の湯 のものづくりと世界のわざ	国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/special/senke/		
14日(土)		測定器に関する国際会議「TIPP09」	つくば国際会議場 後援: 総合研究大学院大学
	http://tipp09.kek.jp		
14日(土)	14:00-18:30	JAXA 宇宙探査イベント「宇宙探査の 始動 ~Inspire the future~」	パシフィコ横浜 5F 小ホール
	http://www.jspec.jaxa.jp/2009yokohama/index.html		
17日(火) -19日(木)		平成20年度の衝撃波シンポジウム	名古屋大学 IB 電子情報館 主催: 宇宙航空研究開発機構
	http://www.swsoc.jp/index2.html		
18日(水) -19日(木)		年度研究報告会	統計数理研究所
19日(木)		みんなく公開講演会 激動するインド世界	毎日新聞社ビル B1 オーバルホール
19日(木)- 6月23日(火)		企画展「ナシ族画家が描く生活世界- 雲南省西北部ではぐくまれた絵心」	国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/nashi/		
20日(金)		自然科学研究機構シンポジウム	東京国際フォーラム 後援: 総合研究大学院大学
	http://www.kuba.co.jp/nins07/		
21日(土)		茶の湯と工芸	国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar08.html		

24日(火)	10:30-14:30	「インド刺繍布のきらめきーバシン・コレクションに見る手仕事の世界」関連ワークショップ 「インド西部のミラー刺繍」	国立民族学博物館
		http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/indo/indo_mirror.html	
25日(水)	15:00-17:00	【光分子科学】High Resolution UV Spectroscopy of Flexible Molecule and Clusters: Weak Interaction and Conformational Structure	分子科学研究所
		http://www.ims.ac.jp/events/2008/090325.html	
25日(水)	11:00-12:00	Ablation of Chibby Impairs Motile Cilia Biogenesis and Function in the Respiratory Epithelium of Mice	国立遺伝学研究所
		http://www.nig.ac.jp/seminar/index-j.html	
25日(水)	15:30-17:00	ERATO セミナー; シロイヌナズナにおける異なる組織由来のカルスの解析	明大寺地区1階会議室(111) 主催: 基礎生物学研究所
		http://www.nibb.ac.jp/event/seminar_detail.php?no=662	

4月

日程	時間	行事名	場所
3日(金)、 6日(月)、 7日(火)	14:00-17:00	春の遠足・校外学習 事前見学 & ガイダンス	国立民族学博物館
		http://www.minpaku.ac.jp/museum/information/guidance09s.html	
4日(土)	9:00-16:00	国立遺伝研究所一般公開	国立遺伝学研究所
		http://www.nig.ac.jp/koukai/koukai2009.html	
11日(土)		第28回宇宙科学講演と映画の会	新宿明治安田生命ホール 主催: 宇宙航空研究開発機構
20日(月) -22日(水)	15:30-17:00	EMBL 合同ミーティング; The 9th NIBB-EMBL Symposium "Functional Imaging from Atoms to Organisms"	岡崎コンファレンスセンター 主催: 基礎生物学研究所
		http://www.nibb.ac.jp/event/event_detail.php?no=666	

<教員の受賞情報>

高エネルギー加速器科学研究科

素粒子原子核専攻

○ 小林誠 名誉教授・元専攻長

茨城県から「茨城県名誉県民章」を贈呈

【編集後記】

総研大ニューズレター第10号をお届けします。

3月になりました。明日5日は啓蟄です。冬ごもりの虫が地上に出てくる日となっていますが、出てきた地上の居心地はどうかのでしょうか。まだまだ寒いので驚いていることでしょう。

さて、先日機会があり、基盤機関のひとつである高エネルギー加速器研究機構を訪れました。話には聞いていましたが、広大な敷地とそこで行われている実験・研究の一端に触れて、圧倒される思いでした。門外漢で研究内容は全くわかりませんが、大型の研究設備とそれらを構成するひとつひとつの精密な部品、また昼夜を問わずに実験に携わる研究者や研究をサポートする人たちなど、様々な人々の手を経て研究が行われていることを目のあたりに感じました。

実際に目で見て、触れて、感じることで、物事を作りあげていく上で重要な要素であると思います。本学のような基盤機関を基に構成されている大学では、他の組織に接する機会を増やすことが相互の意思疎通には欠かせないと感じました。是非、そのような機会を増やしていきたいものです。

〔総務課〕

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力をお願いします。

発行 2009年3月4日

編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2008 SOKENDAI